



大森六中だより

令和6年 2月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



来るべき時代

先月29日(月)には、令和4・5年度大田区教育委員会教育研究推進校としての研究発表会を開催しました。大田区教育委員会をはじめとして、区内外から多くの先生方のご参加のもと、生徒の授業の姿をご覧いただき、その後、生徒会によるシビックアクションの紹介、そしてシビックアクションを含め教科横断的にSDGsに取り組んだ研究の報告を行いました。

締めくくりとして、2年間研究についてご指導いただいた名古屋大学名誉教授の安彦忠彦先生に「来るべき時代の学校に期待されるもの」という演題でご講演いただきました。

「来るべき時代」を地球環境の激変に人類が「地球全体の生命に初めて全責任を負う時代」であり、人間が環境危機を生まず、生んだらその克服に責任を負わねばならない時代と定義され、環境破壊につながる危険性の「制御」能力を持つ人間の育成と環境破壊を減らす努力をする「意志と能力」を持つ人間の育成の必要性を語られました。その上で、本校の取組の重要性に触れて評価いただきました。

今後は、「主体性＝当事者意識 Agency」を子供に認める方向を重要視し、大人が目的を決めて、それを達成する教育ではなく、子供が自分の目的・未来を決めて、それに向けた主体的な活動を認める教育、大人は未来について、子供の相談に乗

り、支持者・助言者・協力者の枠を超えない教育＝「未来の主権者」を尊重する教育、大人の「教化」による大人への「依存」ではなく、大人により能力を引き出され、その「自立 independence」を達成させる教育が求められると説かれました。

また、あらゆる差別や格差を克服し、誰一人取り残さない理念と、宇宙万物のあらゆるものは「所与のもの」(すでに与えられているもの)として、その価値を認める倫理・道徳の重要性にも触れられました。とても示唆に富むご講演で、今後の研究の方向性を示していただきました。

参加された先生方には、学びに向かう積極的な生徒の姿から研究の成果を感じていただけたと思います。また、研究報告書には、次のような生徒の声を載せました。「より良い未来を自ら創るということは、未来を創造するために今課題となっている問題に対して、大きく解決へ進めるために、日々その問題に対しての知識を更新し、世界で今何が行われているのかを学び、今、未来を創造するために行っていることがある団体や個人事業者と肩を並べて、協働してより大きなアクションを起こせる人材になるよう、自分自身でしかできないと言われるくらい、社会から求められる人材になることが必要だと思う」 皆が地球の未来のために力を尽くして欲しいと切に願います。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

大田区教育委員会研究推進発表会

1月29日(月)は、令和4、5年度2年間にわたる研修の発表会を行いました。大田区内外から約180名の方が、研究授業から、研究発表会に参加していただき、生徒の生き生きと学ぶ姿を披露することができました。



本研究の主題は、「持続可能な社会を構築する担い手の育成を目指して」～よりよい未来を創造するコンピテンシーとは～で、総合的な学習の時間を中心に横断的に教科を結びつけ、課題解決するための力を作ることを目的とした研修です。その中でも研究授業の中で、発揮したのは、生徒の発表する力でコミュニケーション能力がかなり高まっている場面を多くの先生方に見ていただくことができました。また、自慢できるのが、生徒の落ち着いた授業態度です。人の話すことに耳を傾け、自分の意見を吟味して発表することが普段の授業から行われているため、人前でも動じないで発表する姿を見ていただくことができました。

未来を想像する力とは、

・これからの社会に必要な知識／技能を身につけようとする力・多種多様な考えを受け入れ、自らの世界を広げる力・様々な体験を通して発想力、創造力を養い、行動する力で、あると考えています。各授業で学ぶ知識や技能が必要なことは当然ながら、その知識や技能を活用して、多様な考え

方を取り入れながら、自分の意見を確立させ、まだ見ぬ世界を創りあげていく意欲が大切です。また、多くの経験に基づいた発想や独創的な工夫や創造性を養うことで、行動力に変えていくことが必要であると考えています。



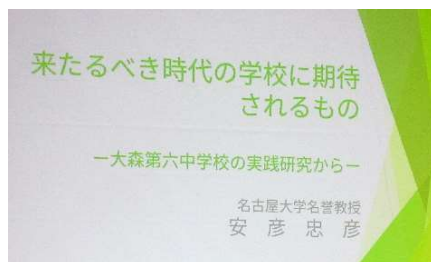
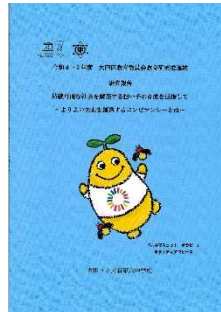
以下、参加いただいた方からのアンケートから抜粋します。

- ・授業ではないですが、生徒のあいさつができていて、素晴らしいと感じました。授業への取り組む姿勢が良かったです。
- ・直面している課題・問題について、根本まで掘り下げ、解決へのアプローチを試みている点が素晴らしいかった。
- ・社会の問題を中学生でありながら自分事に考えていることに感銘を受けました。実際に地域の人に提案し、改善策を練っていることが素晴らしいです。

多くの方から好意的なご意見をいただきました。会場が狭くて、詳しく見るができなかったというご意見もいただきましたが、より関心を持って参加いただいたという意見と捉え、ありがたく感じます。今回の研究発表会で終わるのではなく、さらに、生徒の成長を見守りたいと考えております。

大田区研究発表会

「持続可能な社会を構築する担い手の育成を目指して～よりよい未来を創造するコンピテンシーとは～」というテーマでSDGsに関連した授業および研究発表会を行い、多くの小学校・中学校の先生方が参観されました。講演会前には生徒会によるシビックアクションの取り組み経過の発表もありました。



席書会

1月26日（金）池上会館にて、1年生の菊地紅杏さん、2年生の赤堀愛奈さん、3年生の佐藤さゆりさんが席書会に参加しました。席書会では、普段の授業で用いている筆より大きい筆を使って書道を行います。六中生を代表するに相応しい、堂々とした立派な書ができました。完成した書は校舎内に展示されています。書道家の方のプロの技も拝見することができました。



2学年オーケストラ鑑賞教室

1月30日（火）、大田区民ホールアプリコにて、中学生のためのオーケストラ鑑賞教室が開催されました。東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団の方々の演奏は素晴らしく、各楽器の紹介も一つ一つが丁寧でわかりやすいものでした。ソプラノ歌手の江口二美さん、テノール歌手の上本訓久さんの独唱も、力強く美しい歌声で、生徒たちは興味津々な様子で聴き入っていました。初めて生のオーケストラを聴く生徒も多く、貴重な経験を積むことができました。

